

#37 KeePer TOM'S 最強コンビ3年目のシーズン迎える!!



2019年も、 平川選手&キャシディ選手の 最強コンビで挑む!!

2月7日(木)、トヨタ自動車株式会社の2019年度モータースポーツ活動が発表された。今年も、#37 KeePer TOM'Sは、ゼッケン1番を返上してしまうものの、現在、LEXUS最強コンビの平川亮選手とニック・キャシディ選手の継続が決定した。

今年のSUPER GTを取り巻くトヨタ自動車をはじめとする、昨年の覇者ホンダと日産の3メーカーの活動発表の中には驚くべき変化もあった。

最大のライバル、 山本選手&バトン選手が、#1で参戦!



1/11(金)、ホンダが東京オートサロンにて、SUPER GTの参戦体制を発表。参戦するのは昨年と同様の5台。

まずホンダ陣営が1月の東京オートサロンで体制発表を行い、昨年のツインリンクもてぎ最終戦にて1.576秒差でV2を逃したライバルは、ドライバーラインナップも変わらず(山本尚貴選手、ジェンソン・バトン選手)、ゼッケン「1」で今年も参戦の発表をした。その体制発表を見ることで、若い2人のドライバーにとっては大きな刺激になったのではないかと思う。

その約1か月後、LEXUS陣営の体制発表が行われ、正式に#37 KeePer TOM'Sとして継続参戦がリリースされた。2011年はダブルネームであったが、KeePer技研株式

会社としてSUPER GT参戦9年目、トムスチームからの参戦は7年目のシーズンとなる。

日産は驚きのラインナップ!? 元仲間&チームメイト選手が 日産へ移籍



2/9(土)、日産が参戦体制を発表。昨年同様の4台の出場で、2015年以来となるGT500クラスチャンピオン獲得を目指す。

そして、その2日後、2月9日(土)に日産陣営の体制が発表された。ここは昨シーズン、ホンダ、LEXUS陣営に対し結果が奮わなかったせいか、大幅にドライバーのラインナップを変えてきた。

正直、なりふり構わずの驚きの大シャッフルを決行。その中身とは、GT500クラスの経験のあるトヨタ、LEXUS勢から、2人もGT500クラス入りをしたのだ。我々の仲間であった平手晃平選手やチームメイトでもあったジェームス・ロシター選手が、新天地にての活動の場を発表した。

長年、トヨタの雄として活動を続けてきた平手選手の移籍は、昨年GT300クラスで戦っていただけに、GT500クラスに返り咲いたことが衝撃だった。

また、さらに衝撃が走ったのは、昨年はスーパーフォーミュラのトムスレギュラードライバーであり、かつ、SUPER GT #36 を5月の富士大会にて中嶋選手の代役としてドライブ、2016年は平川亮選手とともに#37 KeePer TOM'S をドライブしたジェームス・ロシター選手が名門チームイン



2016年は平川亮選手とともに#37 KeePer TOM'S をドライブしたジェームス・ロシター選手がまさかの名門チームインバルへ移籍。昨年の無念を果たすべく、日産が勝負に出る!



パル入りとは、驚きを隠せない。

しかも、タイヤはブリヂストンと、我々と一緒に経験を積んだメーカーだ。強敵になることは、間違いないだろう。

若い2人は決して怯まない! 成長過程の2選手に期待!!

しかし、2015年からKeePer TOM'SのドライバーとしてSUPER GTにレギュラー参戦、2017年からは#37 KeePer TOM'Sのエースとして今年で3年目のシーズンを迎える平川亮選手、2016年に全日本F3からジャンプアップしてSUPER GTデビューを果たし、2017年から平川選手とともに#37 KeePer TOM'Sをドライブしているニック・キャシディ選手の若い2人は、怯むことはない。彼らまだまだ成長過程であり伸びしろは充分、この2年の活躍を見ると、二人の相性はバッチリ!



それぞれの個性を遺憾なく発揮し、 着々と準備中!!

コンビを組んだ年に、またたく間に強さを発揮しタイトルを獲得したこと。のびのび同世代でコンビを組んだのは、大正解であることは疑う余地はないだろう。性格は、落ち着いているようで、突然異次元のチカラを発揮する平川亮選手、はしゃいでいるように見えて、いざとなるととんでもない集中力でアグレッシブに戦うニック・キャシディ選手。それぞれの個性を遺憾なく発揮し、レースを戦っている。

再びタイトルを奪還するには、充分なポテンシャルだ。2019年、本格的なテストも始まり、4月の開幕に向けて着々と準備を進めている。今シーズンも、皆さまからの応援をチカラに、チャンピオン奪回に向けて全力で挑みます。

SUPER GT 2019 レーススケジュール

開幕戦	岡山国際サーキット(岡山県) 予選 4/13(土)・決勝4/14(日)	第5戦	富士スピードウェイ(静岡県) 予選8/3(土) 決勝8/4(日)
第2戦	富士スピードウェイ(静岡県) 予選5/3(金祝)・決勝5/4(土祝)	第6戦	オートポリス(大分県) 予選9/7(土) 決勝9/8(日)
第3戦	鈴鹿サーキット(三重県) 予選5/25(土)・決勝5/26(日)	第7戦	スポーツランドSUGO(宮城県) 予選9/21(土) 決勝9/22(日)
第4戦	チャン・インターナショナルサーキット(タイ) 予選6/29(土)・決勝6/30(日)	最終戦	ツインリンクもてぎ(栃木県) 予選11/2(土) 決勝11/3(日祝)

※開催日程は他の世界選手権レースの開催予定が変更された場合、変更されることもあります

社長退任及び会長就任のご挨拶

私、谷好通は、約33年前に愛知県刈谷市に「株式会社タニ 共同石油・高津波給油所」として起業して以来、生業は石油販売業から洗車・コーティング業に変わりつつも、ずっと自動車に関わり、ガソリンスタンドの皆様と関わってまいりました。その間、数えきれないほどの多くの皆様との縁をいただき、お受けしたご恩は量り切れないほどの重さです。改めて、深く感謝を申し上げます。

私はこの仕事が好きなので、100歳まで主役でいたかったのですが、もうすぐ67歳になろうとする現時点で、思うところがあり、主役の「社長」を、当社の47歳の

若き賀来聡介君に譲り、一步下がった「会長」へと退くことにいたしました。しかし、まだ引退するわけではなく、会社の経営責任を負いつつ、範囲を「企画」と「製品」に絞って、もうしばらくは業務に携わってまいります。

日本が新しい時代を迎えるに当たって、KeePerも常に新鮮な感覚を忘れない経営で、皆様のお役に立てる存在であり続けたいと、決意を新たにいたしております。今後とも新体制になったKeePer技研株式会社を、どうかよろしくごお願い申し上げます。

代表取締役会長兼CEO 谷好通

新役員

代表取締役社長兼COO	賀来 聡介
専務取締役	鈴置 力親
取締役 キーパーラボ運営事業部長	矢島 洋
取締役 製品部長	増田 貴志
取締役 事業サポート本部長兼店舗開発部長	永田 裕一
執行役員 営業部長	三浦 健典
執行役員 東京西営業所長	阿比留 慎太郎

代表取締役会長兼CEO 谷好通